



篠田 桃紅 略歴

- 1913 旧満州・大連に生まれる / 本名・満州子
- 1914 父の転勤で東京に移る
- 1919 この頃、父の書斎で初めて筆と墨に触れる
- 1929 女学校の師である下野雪堂に書の個人指導を受ける
- 1932 与謝野晶子門下の歌人・中原綾子に短歌の指導を受ける
- 1935 書を教え始める
- 1940 初めての個展「書」（鳩居堂、東京）
- 1944 第二次世界大戦中、両親、妹と福島県会津に疎開。
- 1947 東京に戻り、既成の書や文字の枠にとらわれない制作を本格的に始める
- 1951 書道芸術院展（東京都美術館、審査員として 1956 年までの毎年出展）
- 1952 書道芸術院現代書道展国内展（東京都美術館）
- 1953 「日本の建築と書」展（ニューヨーク近代美術館、以後アメリカ各地を巡回）
- 1954 「日本の書」展（ニューヨーク近代美術館） / 「サンパウロ市 400 年祭り」日本政府館のために壁書を制作 / 「篠田桃紅 書作個展」会場構成: 丹下健三（銀座松坂屋、東京）
- 1955 「ワシントン州国際見本市」日本モデルルームに壁書を制作（設計: 剣持勇）
- 1956 個展 [抽象]（養清堂画廊、東京） / 現代日本の書・墨の芸術展（パリ、ハンプルク、ローマ） / 渡米、ボストンに滞在 / 個展（スエゾフ・ギャラリー、ボストン）
- 1957 個展（バーサ・シェイファーズ・ギャラリー、ニューヨーク） / 個展（タフト美術館、シンシナティ） / 個展（アート・インスティテュート・オブ・シカゴ） / 個展（日本倶楽部）
- 1958 個展（ジェファーソン・プレイス・ギャラリー、ワシントン D.C.） / 米国より帰国 / 「抽象絵画の展開」展（東京国立近代美術館）
- 1959 「日本美術の伝統と革新—白隠、志功、桃紅、南谷 4 人展」（クレラー・ミュラー美術館、オテルロー、オランダ） / 現代日本絵画展」（中南米巡回）
- 1960 フィラデルフィア美術館から来日した刷師アーサー・フローリーの勧めでリトグラフを制作し始める
- 1961 「ピッツバーグ国際現代絵画彫刻展」（カーネギー・インスティテュート、米国）

- 1962 「意味と記号-日本の書」展（ベルリンなどドイツ国内を巡回） / 「近代日本の造形-絵画と彫刻」（東京国立近代美術館） / 「現代日本墨絵展」（米国巡回）
- 1963 山梨県忍野村にアトリエを持つ
- 1964 国立代々木競技場のために壁画を制作（東京）
- 1965 個展のためニューヨークに滞在 / 個展（ベティ・パーソンズ・ギャラリー、ニューヨーク）
- 1966 「カナダ・モントリオール万国博覧会」日本館のために壁画を制作
- 1967 ROSC '67（第1回展）世界 50 人展」（ロイヤル・ダブリン・ソサエティー）
- 1968 個展のためニューヨークに滞在 / 個展（ベティ・パーソンズ・ギャラリー、ニューヨーク）
- 1970 京王プラザホテル貴賓室、次特別室、ロビー、客室に屏風とリトグラフを制作（東京）
- 1971 個展のためしばらくニューヨークに滞在 / 個展（ベティ・パーソンズ・ギャラリー、ニューヨーク） / 「ROSC '71、10 人の作家展-デュビュッフェ、アルトウング、デ・クーニング、ミラレス、ミロ、ピカソ、篠田、スーラージュ、タピエス、ザオ・ウォーキー」（ロイヤル・ダブリン・ソサエティー）
- 1973 「戦後日本美術の展開 - 抽象表現の多様化」展（東京国立近代美術館）
- 1974 増上寺大本堂ロビーのために壁画、道場のために襖絵を制作（東京）
- 1976 個展（ザ・トールマン コレクション、東京）
- 1977 個展（ベティ・パーソンズ・ギャラリー、ニューヨーク） / ワシントン駐米日本大使公邸のために壁画を制作
- 1979 随筆集「墨いろ」で第 27 回日本エッセイスト・クラブ賞受賞 / 「岡田・篠田・津高 - 20 世紀日本抽象絵画三人のパイオニア」（フィリップス・コレクション、ワシントン D.C.、以後米国巡回）
- 1980 個展「創造と伝統：絵画と版画」[芝増上寺大本堂、東京][ザ・トールマン コレクション主催]
- 1982 メリー、ノーマン・トールマン共著「国際舞台に立つ日本の版画家」（叢文社）の表紙のために版画を制作
- 1984 彫刻家との二人展 Toko Shinoda and Elizabeth de Cuevas（ブルース美術館、グリニッジコネチカット州, 米国）
- 1989 「絵画と文字：描かれた文字 / 書かれた絵」展（北海道立函館美術館）
- 1990 「日本の美」展（レトレッティ・アート・センター、フィンランド）

1992 「書と絵画の熱き時代・1945 - 1969」 (品川文化振興事業団 O 美術館、東京) / 回顧展「篠田桃紅 時のかたち」 (岐阜県美術館)

1994 「戦後日本の前衛美術展」 (横浜美術館、以後グッゲンハイム美術館、サンフランシスコ近代美術館へ巡回) / 個展 (シンシナティ美術館) / 「新作抽象画展」 [ザ・トールマン コレクション主催] (草月会館、草月プラザ、東京)

1995 「戦後文化の軌跡 1945-1995」 展 (目黒区美術館、広島、兵庫、福岡へ巡回)

1996 「TOKO SHINODA - VISUAL POETRY (シンガポール国立美術館) [ザ・トールマン コレクション協力]

1998 個展 (アネリー・ジュダ・ギャラリー、ロンドン)

2001 「篠田桃紅 回顧展」 25 年間のトールマンコレクション発行版画 (草月会館、東京) / 個展「境を超えて」 (恵比寿ガーデンプレイス、東京) [モルガン・スタンレー・ディーン・ウィッター・ジャパン主催]

2003 90 歳記念個展「篠田桃紅 朱よ」 (原美術館、東京) [ザ・トールマン コレクション協賛] / 篠田桃紅美術空間 岐阜県関市に設立

2005 「墨いろに心を託した作家のあゆみ」 (新生銀行本店 20 階ホール、東京) [ザ・トールマン コレクション主催] / 京都迎賓館の貴賓室に絵画を制作 / コンラッド東京のロビーに絵画を制作

2007 皇室専用の新型車両の内装壁画を制作

2009 「日本の女神たち - 篠田、岩見、松原、小田、塩見」 (国立シネブリコフ・アート美術館、ヘルシンキ)

2010 個展「墨象作家篠田桃紅の世界-文字とかたち」 (致道博物館、創設六十周年記念特別展、山形) / ザ・キャピトルホテル東急、ロビーの作品を制作

2011 個展「リヒテンシュタイン・グローバル・トラスト (LGT 銀行) 香港開業 25 周年記念展」 (エクスチェンジ・スクエア内ロタンダ、香港) [ザ・トールマン コレクション主催]

2012 個展「Guided by the Brush」 (ザ・トールマン コレクション、ニューヨーク)

2013 回顧展「篠田桃紅 百の譜 1950 - 1960's (岐阜県美術館、岐阜現代美術館、桃紅美術空間、光芳堂画廊、岐阜) / 篠田百歳を記念するトールマン・コレクション主催・協力の展覧会: 個展「ポートランド日本庭園開園 50 周年記念特別展 (米国、オレゴン) / 個展「Trailblazer」 (日本協会、ニューヨーク) [ロックフェラー財団協賛] / 「百の記念 篠田桃紅の墨象」 (菊池寛実記念 智美術館、東京) / 日本研究センターの 50 周年記念展 (スタンフォード大学) / 個展メルボルン、シドニー、パースを巡回 / 個展ザ・トールマン コレクション、ロンドン開設記念

2014 個展「A Life Time of Accomplishment」(クラブ 21 ギャラリー) [ザ・トールマン コレクション 主催]、シンガポール / 個展 (トールマン・コレクション香港)

2015 “Breaking Barriers – Japanese Women Print Artists 1950 – 2000” (ポートランド・アートミュージアム、米国オレゴン州)

2016 名古屋 KITTE 開業記念展 (JP タワー名古屋) [ザ・トールマン コレクション協力]

2017 「篠田桃紅 昔日の彼方に」 (菊池寛実記念 智美術館) [ザ・トールマン コレクション協力]

2018 「篠田桃紅 とどめ得ぬもの墨のいろ 心のかたち」 (サントミュージゼ上田市立美術館) 以降、
2019 高梁市成羽美術館、横浜に巡回 / 個展「過去・現在・未来」 (大本山増上寺) [ザ・トールマン コレクション主催]

2021 3月1日 107歳にて逝去

2022 篠田桃紅展 (東京オペラシティ・アートギャラリー)

「夢の浮橋」 (菊池寛実記念 智美術館) [ザ・トールマン コレクション監修]

2024 「追悼 篠田桃紅 107 年のキセキ」 (古川美術館、名古屋) [ザ・トールマン コレクション監修]

2025 「篠田桃紅と吉島家」 (国指定重要文化財 吉島家住宅、岐阜県高山市) [ザ・トールマン コレクション 協力]

収蔵 (公的コレクション 抜粋)

イエール大学美術館 (コネチカット)

オルブライト=ノックス美術館 (ニューヨーク)

クレラー=ミュラー美術館 (オテルロー、オランダ)

クンスト美術館・ハーグ (デン・ハーグ、オランダ)

サンフランシスコ・アジア美術館

シカゴ美術館

シンガポール国立美術館

シンシナティ美術館

スペンサー美術館 (カンザス)

スミス大学美術館（マサチューセッツ）

スミソニアン国立アジア美術館（ワシントン D. C.）

ソロモン・R・グッゲンハイム美術館（ニューヨーク）

大英博物館（ロンドン）

ティコティン日本美術館（ハイファ、イスラエル）

バージニア大学フラリン美術館

ハーバード・アート・ミュージアムズ（マサチューセッツ）

フォルクヴァング美術館（エッセン、ドイツ）

ブルックリン美術館（ニューヨーク）

ベルリン国立アジア美術館

ボストン美術館

メトロポリタン美術館（ニューヨーク）

岐阜県美術館

岐阜現代美術館

東京国立近代美術館

富山県美術館

原美術館 ARC（群馬）

北海道立函館美術館

フォード財団（ニューヨーク）

ポートランド日本庭園（オレゴン）

ルクセンブルク大公国王室

ロックフェラー財団（ニューヨーク）

駐米日本大使公邸（ワシントン D. C.）

川崎市国際交流センター

菊池寛実記念 智美術館（東京）

京都迎賓館

京王プラザホテル（東京）

皇居

国立京都国際会館

コンラッド東京

増上寺（東京）

東京アメリカンクラブ

日南市文化センター（宮崎）

日本銀行（東京）